

第7回 年金資産管理運用委員会 資料

## 新ファンドの追加採用について

---

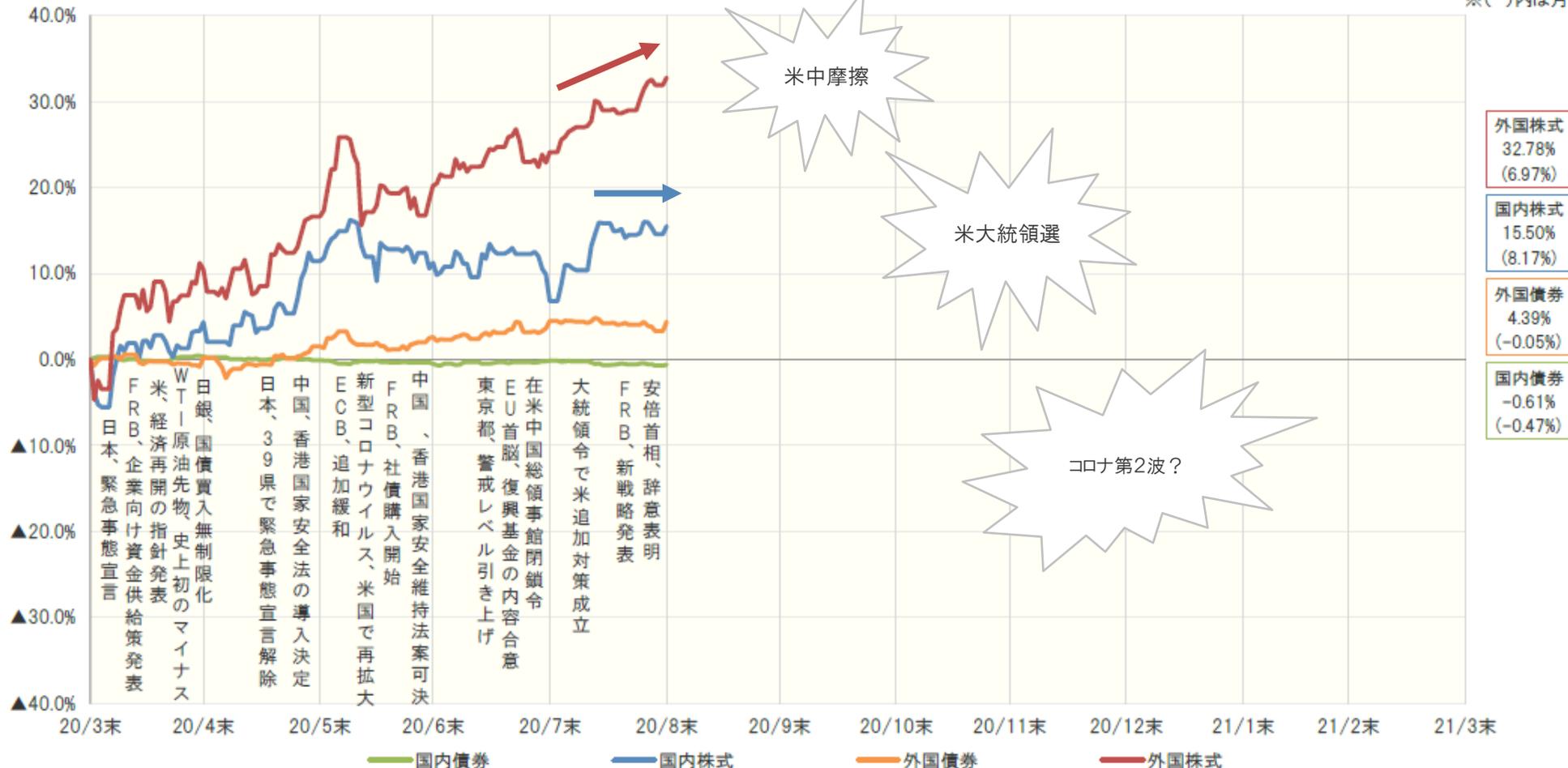
2020年9月11日

鹿児島県病院企業年金基金

# I - 1. 2020年度 市場の概況 (2020年4月~8月)

<通期>

※( )内は月次

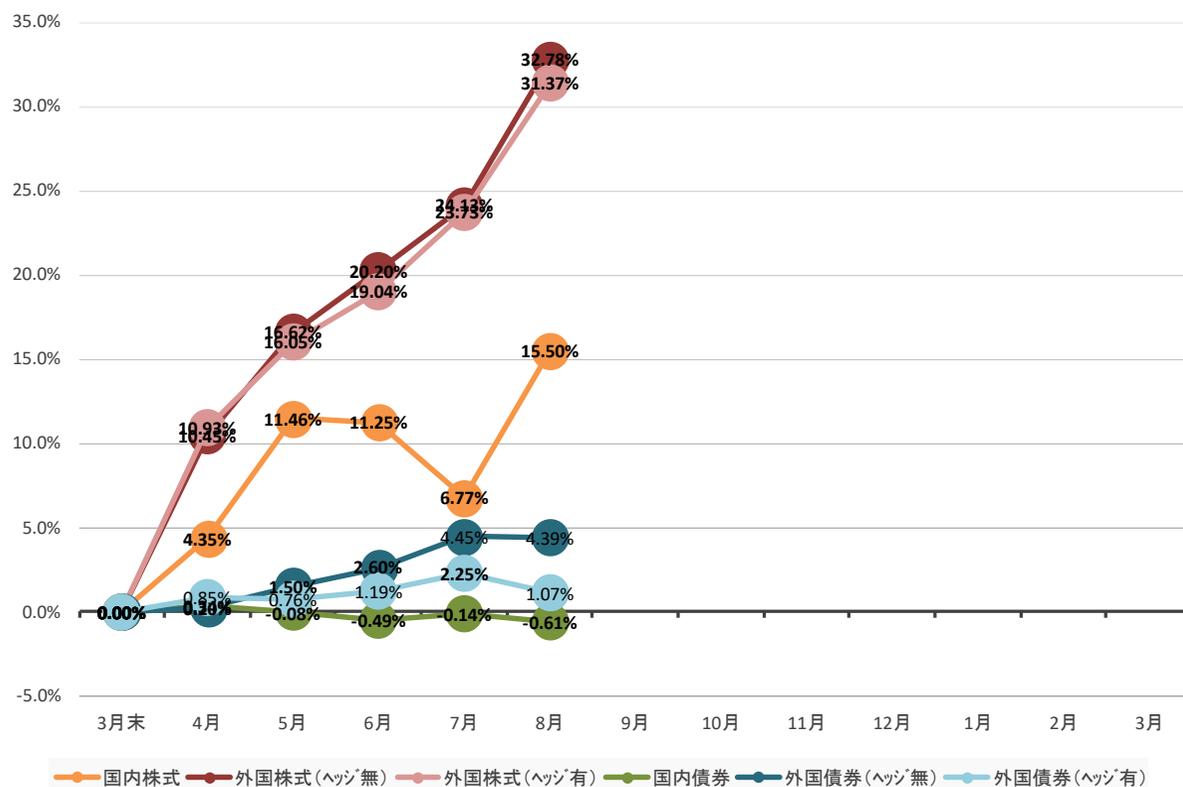


ご参考【月次】	外国債券	-0.05 % (うち、債券部分	-1.13 %	為替部分	1.09 %)	【通期】外国債券	4.39 % (うち、債券部分	1.24 %	為替部分	3.11 %)
	外国株式	6.97 % (うち、株式部分	6.18 %	為替部分	0.74 %)	外国株式	32.78 % (うち、株式部分	31.79 %	為替部分	0.75 %)

国内債券 : NOMURA-BPI(総合) 国内株式 : TOPIX(配当込) 外国債券 : FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) 外国株式 : MSCI KOKUSAIインデックス(円ベース、税引前・配当込)

# I - 2. 2020年度 市場指標の推移 (2020年4月～8月)

2020年度 ベンチマーク騰落率



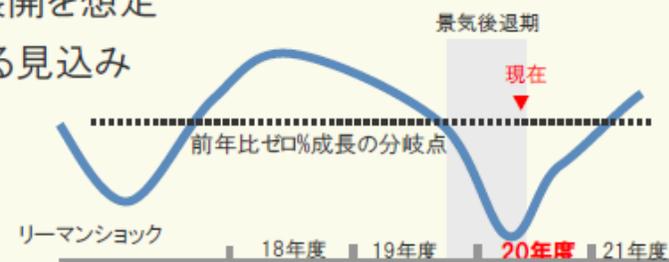
バンク・オブ・アメリカのファンドマネージャー対象の月次調査によると、投資家は株式相場が過去最高値を付けた2月以来「最も強気」。新型コロナウイルスのワクチン開発と経済活動の回復への期待が材料。米国のテクノロジー株と成長株に買いが集中。過熱感も見られ調整局面入りに要警戒。金価格も高いが、既に割高水準入りか？

通期	4月	5月	6月	7月	8月
国内株式	4.35%	11.46%	11.25%	6.77%	15.50%
外国株式(ヘッジ無)	10.45%	16.62%	20.20%	24.13%	32.78%
外国株式(ヘッジ有)	10.93%	16.05%	19.04%	23.73%	31.37%
国内債券	0.34%	-0.08%	-0.49%	-0.14%	-0.61%
外国債券(ヘッジ無)	0.20%	1.50%	2.60%	4.45%	4.39%
外国債券(ヘッジ有)	0.85%	0.76%	1.19%	2.25%	1.07%

# I - 3. 投資環境見通し

## メインシナリオ ～景気の最悪期は通過も回復力は鈍い展開を想定、本格回復は年度後半以降～

- 景気の最悪期は通過も、新型コロナウイルスの感染第2波への警戒が回復を抑制
- 年度後半には、感染の落ち着きとともにグローバル景気の回復が進む展開を想定
- 金融市場は、目先慎重も正常化期待の進展と共に再び上昇基調に戻る見込み
- リスクは経済麻痺の長期化による重債務企業/国家の破綻



### 【日本】 感染収束と共に経済活動再開、回復へ

- ・景気は最悪期通過も、新型コロナの感染第2波への警戒、外出自粛が回復を抑制
- ・年度後半にかけては、感染の収束と共に景気は持ち直しへ

2019年度	2020年度
0.0%	-5.4%

### 【米国】 感染収束と共に経済活動再開、回復へ

- ・景気は最悪期通過も、新型コロナの感染第2波への警戒、追加支援策を巡る議会協議難航が景気の回復を抑制
- ・年度後半にかけては、感染の収束と共に、各種経済政策も奏功し、景気は持ち直しへ

2019年度	2020年度
2.2%	-5.0%

### 【欧州】 感染収束と共に経済活動再開、回復へ

- ・景気は最悪期通過も、新型コロナの感染第2波への警戒、財政支出の遅れが景気の回復を抑制
- ・年度後半にかけては、感染の収束と共に景気は持ち直しも、欧州復興基金による景気浮揚は主に来年度

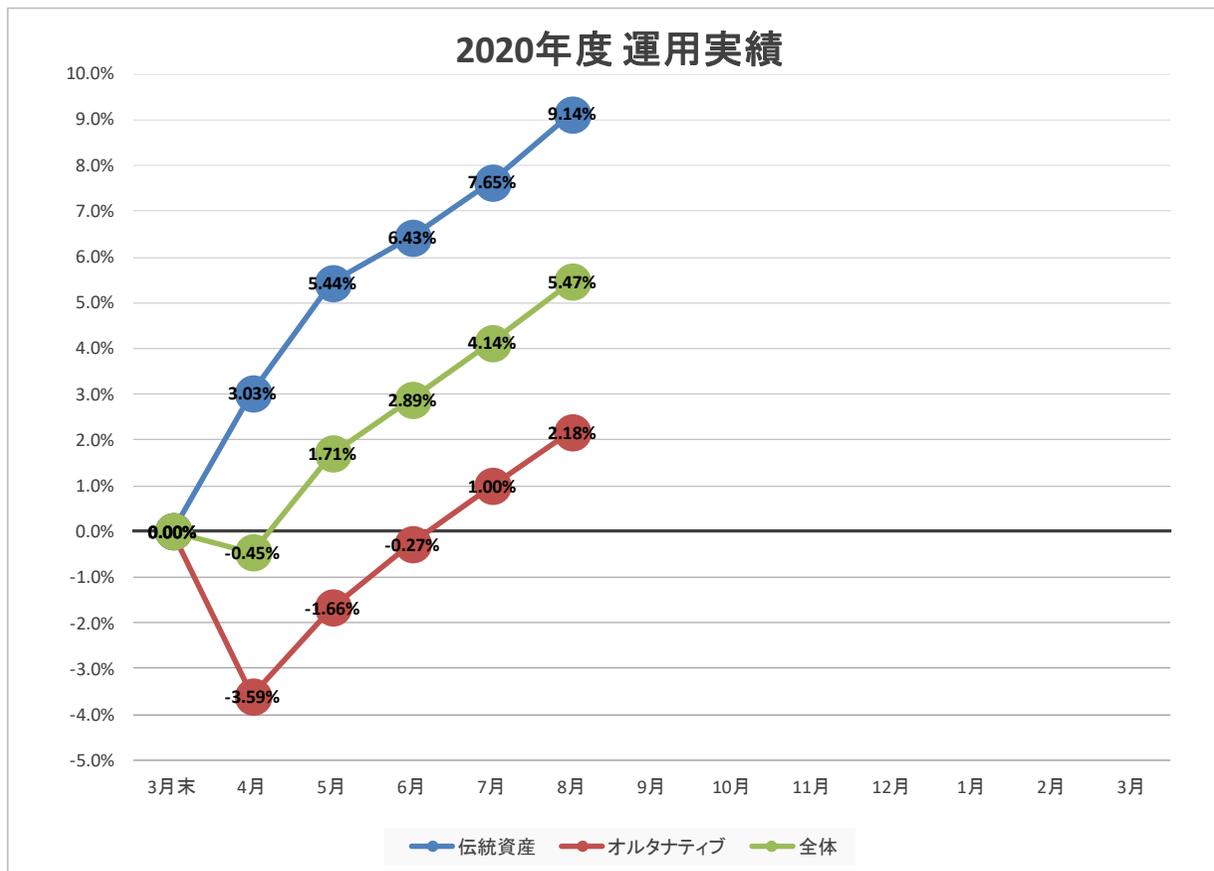
2019年度	2020年度
1.3%	-8.4%

### 【中国】 経済活動は緩やかに再開し、回復へ

- ・回復基調継続も、感染第2波への警戒が残ることで消費の回復は緩慢
- ・年度後半にかけては、グローバルな感染の収束と共に回復ペースがやや改善

2019年度	2020年度
6.1%	2.4%

## II-1. 2020年度 当基金の運用実績（2020年4月～8月）



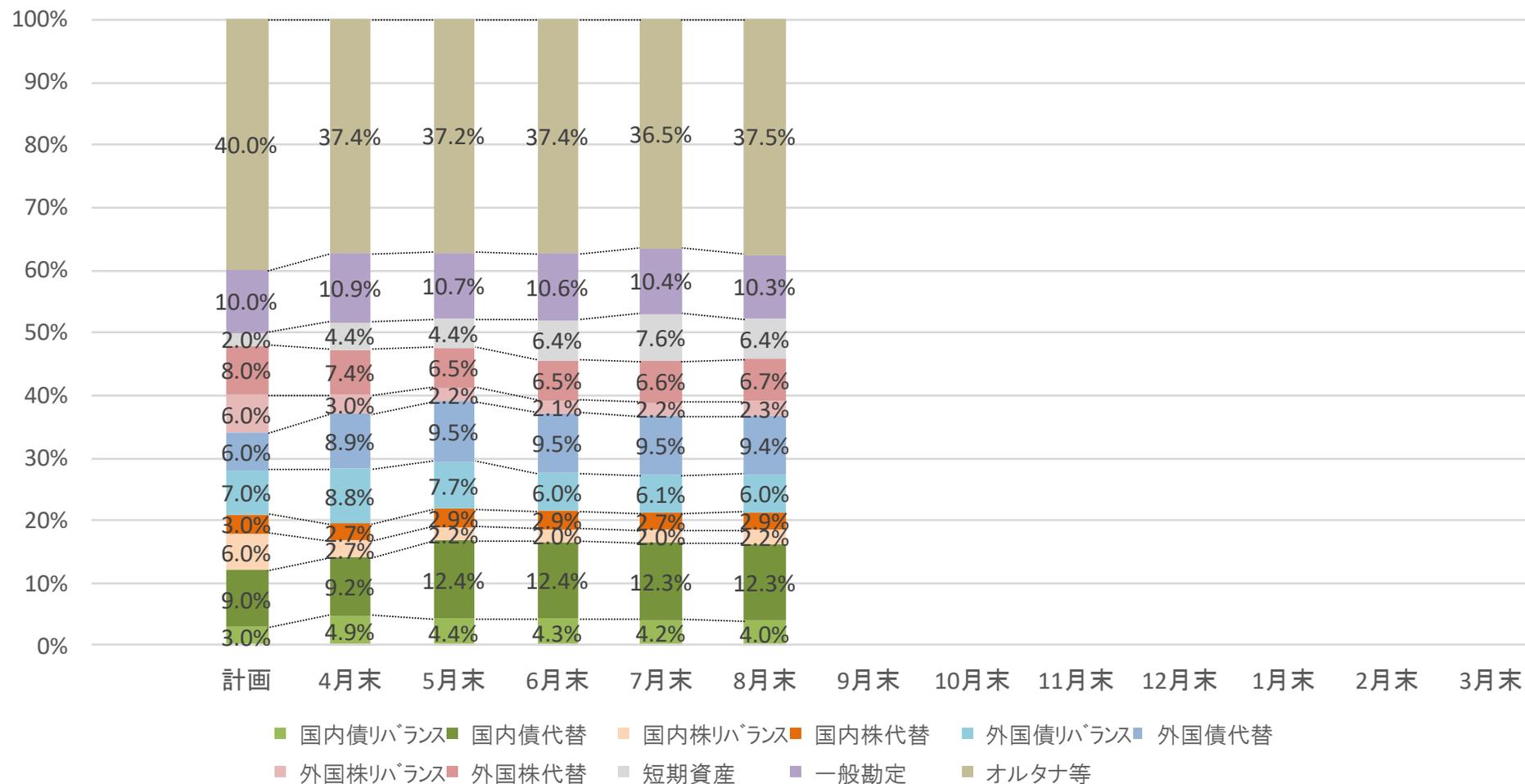
8月末の運用実績は、全体で+5.47%、残高は64億7千万円となりました。

内外株式の上昇に引っ張られる形で、伝統資産の運用部分は+9.14%、オルタナティブ運用部分も堅調な動きで+2.18%となっています。

通期	4月	5月	6月	7月	8月
伝統資産	3.03%	5.44%	6.43%	7.65%	9.14%
オルタナティブ	-3.59%	-1.66%	-0.27%	1.00%	2.18%
全体	-0.45%	1.71%	2.89%	4.14%	5.47%

## II-2. 2020年度 当基金の資産構成推移（2020年4月～8月）

2020年度 資産別構成比推移



# 2020年度 政策アセットミックス

---

# III-1. 2020年度 政策アセットミックス

政策アセットミックス(2020年4月1日)

資産区分	中心値	許容乖離幅	備考
国内債券	3.0%	1.0% ~ 7.0%	別途定めるリバランスルールに基づきリバランスを行う。
国内株式	6.0%	1.0% ~ 10.0%	
外国債券	7.0%	1.0% ~ 11.0%	
外国株式	6.0%	1.0% ~ 10.0%	
短期資産	2.0%	1.0% ~ 20.0%	
小計	24.0%		
国内債券	9.0%	7.0% ~ 13.0%	時価放置とし、年1回(期初に)必要に応じてリバランスを行う。
国内株式	3.0%	1.0% ~ 7.0%	
外国債券	6.0%	4.0% ~ 10.0%	
外国株式	8.0%	6.0% ~ 12.0%	
小計	26.0%		
オルタナティブ	40.0%	37.0% ~ 43.0%	
生保一般勘定	10.0%	7.0% ~ 13.0%	
合計	100.0%		

資産区分	構成比
国内債券	12%
国内株式	9%
外国債券	13%
外国株式	14%
短期資産	2%
オルタナティブ	40%
新一般勘定	10%
合計	100%

政策AM(期待リターン・リスク)	
期待収益率 ①	3.24%
標準偏差 ②	7.17%
①/②	0.45

三菱UFJ信託銀行株式会社の2019年度中期金融変数を使用。オルタナティブについては、ヘッジファンド(ローリスク)とヘッジファンド(ハイリスク)をそれぞれ50%組入れる前提で計算している。

■ オルタナティブ部分の構成比は全体の37%~43%の幅でコントロールする計画です。

期待リターン・リスク	期待収益率	標準偏差
円債パッシブ	0.06%	2.23%
円株パッシブ	5.70%	17.43%
外債パッシブ	1.70%	10.44%
外株パッシブ	6.40%	18.52%
ヘッジファンド(ローリスク)	3.00%	6.00%
ヘッジファンド(ハイリスク)	5.00%	10.00%
新一般勘定	1.25%	0.00%
短期資産運用	-0.05%	0.04%

相関		1	2	3	4	5	6	7	8
1	円債パッシブ	1.00							
2	円株パッシブ	-0.23	1.00						
3	外債パッシブ	0.04	0.36	1.00					
4	外株パッシブ	-0.18	0.69	0.59	1.00				
5	ヘッジファンド(ローリスク)	-0.40	0.70	0.31	0.69	1.00			
6	ヘッジファンド(ハイリスク)	-0.50	0.70	0.30	0.69	0.80	1.00		
7	新一般勘定	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
8	短期資産運用	0.04	-0.22	-0.08	-0.17	-0.30	-0.40	0.00	1.00

## III-2. 2020年度 年金資産運用状況（2020年8月末現在）

2020年度計画

3月末残高

8月末残高

区分	ファンド	残高(m)	構成比(%)	残高(m)	構成比(%)	
国内債券 (12)	リバランス(3)	ヘンチマーク運用(三菱)	255	4.2%	261	4.0%
	代替投資 (9)	アンコンストレインド	260	4.3%	484	7.5%
		Neuberger(短期EM債)	224	3.7%	250	3.9%
		ヘンチマーク運用(第一)	61	1.0%	62	1.0%
	計		800	13.2%	1,057	16.3%
国内株式 (9)	リバランス(6)	ヘンチマーク運用(三菱)	194	3.2%	143	2.2%
	代替投資 (3)	低β・高配当	58	0.9%	61	0.9%
		iSTOXX Japanクオリティ(99F)	0	0.0%	0	0.0%
		最小分散	58	1.0%	64	1.0%
		小型株集中投資(りそな)	41	0.7%	60	0.9%
計		351	5.8%	328	5.1%	
外国債券 (13)	リバランス(7)	ヘンチマーク運用(三菱)	555	9.1%	388	6.0%
	代替投資 (6)	グローバル総合(PIMCO)	51	0.8%	160	2.5%
		グローバル総合H(PIMCO)	197	3.2%	257	4.0%
		第一生命(フルヘッジパッシブ)	135	2.2%	189	2.9%
計		938	15.4%	994	15.4%	
外国株式 (14)	リバランス(6)	ヘンチマーク運用(三菱)	177	2.9%	151	2.3%
	代替投資 (8)	最小分散(為替ヘッジ)	287	4.7%	245	3.8%
		iSTOXX Globalクオリティ(178F)	0	0.0%	0	0.0%
		AMPキャピタル(G-REIT)	75	1.2%	117	1.8%
		パッシブ・フルヘッジ(50F)	0	0.0%	72	1.1%
		第一生命(パッシブ)	50	0.8%	0	0.0%
計		588	9.7%	585	9.0%	
短期資産(2)		202	3.3%	416	6.4%	
伝統資産小計(50)		2,879	47.4%	3,380	52.2%	

区分	ファンド	残高(m)	構成比(%)	残高(m)	構成比(%)	
オルタナティブ (40)	債券・インカム	PIMCO (GCOS)	266	4.4%	71	1.1%
		Alcentra (欧州バンクローン)	289	4.8%	300	4.6%
		BlueBay(投資適格絶対リターン)	238	3.9%	251	3.9%
		小計	793	13.0%	621	9.6%
	国内株式	サステイナブル成長銘柄投資型	111	1.8%	138	2.1%
		ESGサステイナブル企業投資型	99	1.6%	58	0.9%
		MN101F(βヘッジ・高配当型)	48	0.8%	47	0.7%
		株式口2A(りそな)	51	0.8%	52	0.8%
	小計	310	5.1%	295	4.6%	
	外国株式	Marshall Wace (株式L/S)	294	4.8%	304	4.7%
		小計	294	4.8%	304	4.7%
	マルチ ストラテジー	Farallon (イヘントドリブン)	328	5.4%	320	4.9%
		Baillie Gifford (DRF)	161	2.6%	287	4.4%
		Blackstone AAM	300	4.9%	296	4.6%
		Pictet アルファナティクス	0	0.0%	0	0.0%
LMRファンド・リミテッド		300	4.9%	261	4.0%	
小計	1,088	17.9%	1,164	18.0%		
損害保険	Nephila Capital (分別勘定)	53	0.9%	44	0.7%	
計		2,538	41.7%	2,427	37.5%	
一般勘定(10)		663	10.9%	668	10.3%	
合計		6,080	100.0%	6,416	100.0%	

■ オルタナティブ運用部分の構成比が37.5%と、年度計画に定めた下限値37.0%に迫っており、新たなファンド採用の必要性が出てきた。

## 追加採用ファンドについて

### ① ピクテ (Pictet) アルファナティクス

---

オルタナティブ運用部分が政策アセットミックスの許容乖離幅下限値を下回る恐れがあるため、新たに一つのファンドを追加するものです。

## IV-1. ピクテ・アルファナティクス ファンド（オルタナティブ運用に追加）

- 1805年、当時フランス領だったジュネーブで設立された銀行がルーツで、200年以上の歴史を持つピクテ(Pictet)・グループは、富裕層向けのプライベート・バンク部門、機関投資家向けのアセット・マネジメント部門、不動産、ヘッジ・ファンド等のオルタナティブ戦略の運用を行うオルタナティブ・アドバイザーズ、受託事務を行うアセット・サービス部門に分かれています。
- 今回、採用を検討しているファンドは、上記のアセット・マネジメント部門(ピクテAM)が設定・運用を行っています。
- ピクテAMは、正社員 4,770名、運用資産 19.76兆円(2020年3月末)で、ジュネーブのピクテグループ本社ビルとロンドンに運用拠点を置き、運用プロフェッショナルはその他シンガポール、香港、日本等に分散しています。
  
- **ピクテ・アルファナティクス ファンド**は、グローバル株式(6戦略)、債券(3戦略)、欧州株式(3戦略)、新興国株式(1戦略)、その他(2戦略)、合計15戦略に分散。日本国内で販売開始された2015年4月～2020年3月で、年率リターン 1.21%、[年率リスク 2.39%](#)となっています。同期間の**世界株式**は年率リターン 1.67%、[年率リスク 17.15%](#)であったことと比較すると、リスクを大幅に抑えていることがわかります。同ファンドのオリジナルファンドの実績(2004年8月～2015年3月)を加えると17年間で年率リターン 2.5%、年率リスク 3.3%)の過去実績となっています。
- 2020年7月時点の国内における同ファンドの受託件数は 238件、受託残高は 871億円となっています。
  
- 市場中立型で保守的なピクテ社が運用する本ファンドは、三井住友信託が提携し日本の年金基金向けに販売しています。運用残高が急増した**2018年以降ソフトクローズ**とし、**新規募集が停止**されていましたが、今般、組入戦略の拡張等を通じて、投資枠の拡大が可能となったことから、**募集上限金額を設定した上で投資資金の受け入れを再開**しました。
- 募集上限に達した場合売り止めとなることから、急ぎ、採用についてお諮りするものです。(次年度計画をご審議頂く来年1月の年金資産管理運用委員会開催時点では確実に売り止めとなっていると思われます。)
  
- 短期資産(現金)から2億円振り替えて本ファンドを購入したいと考えます。

# IV-1. ピクテ・アルファナティクス ファンド

## ピクテ・アルファナティクスの特長

### 1 厳格なマーケット・ニュートラルの管理

- 多様な資産・戦略へ分散した上で、ファンド全体及び組入れ戦略レベルでβをコントロールし、マーケット・ニュートラルを維持
- これにより、ダウンサイドリスクを抑制しつつ、安定的なりターン獲得を目指す

### 2 自社戦略から分散効果の高い戦略を組合せ

- Pictet社の60を超える自社運用戦略から、分散効果が高いと考えられる12~22の運用戦略を組合せ
- 歴史あるスイスのプライベートバンクが母体、様々な危機や環境変化を乗り越えマーケットと対峙してきた200年の知見活用

### 3 高い流動性・透明性

- 自社運用戦略であり、全ての銘柄・ポジションを把握
- 市場急変時にもポートフォリオ全体で機動的に対応

## ■ファンドの管理項目

管理項目	上下限
推定β (対MSCI-World)	±0.15
デュレーション	±1
推定ボラティリティ	5%
グロス・エクスポージャー	500%
1戦略への投資上限(金額ベース)	25%

## ■組入れ戦略レベルの管理項目

管理項目	上下限
推定β(対MSCI-World)	±0.20
グロス・エクスポージャー	300%

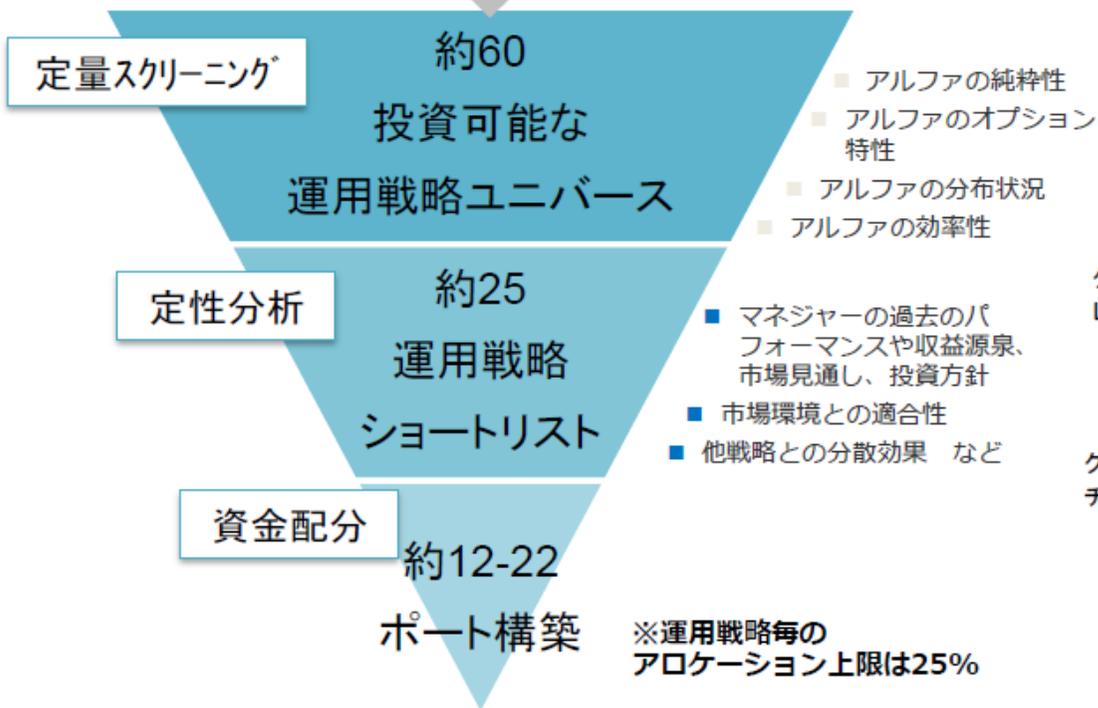
日次のモニタリングでチェック  
ガイドライン抵触時は、速やかに是正  
マーケット・ニュートラル特性を維持

(時点)2020年3月末

# IV-1. ピクテ・アルファナティクス ファンド

## ポートフォリオ構築プロセス

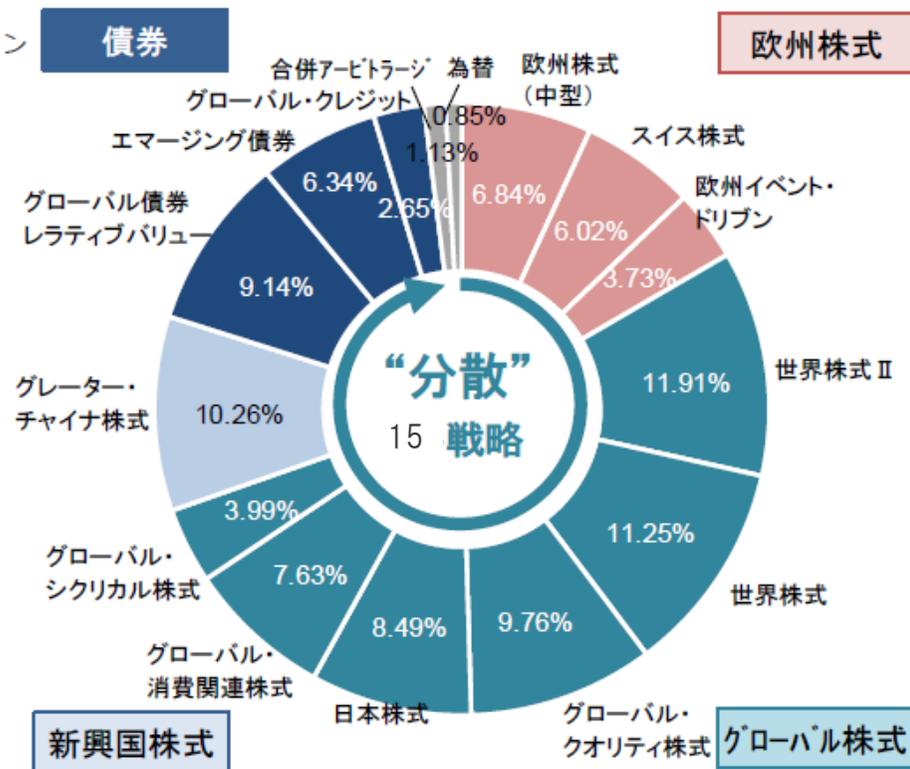
ユニバースの前段階である待機戦略は約80



低相関のアルファ源泉を組み合わせることにより、市場環境に左右されず、安定的なリターン獲得を目指す

## 組入戦略と配分ウェイト(金額ベース) (2020年3月末時点)

アルファ創出能力に対する確信度や、リスク・リターン特性、分散、レバレッジ水準などを考慮



(時点)2020年3月末

## IV-1. ピクテ・アルファナティクス ファンド

ピクテ・アルファナティクスは、全て自社戦略による運用戦略であるため、市場変化に応じて柔軟に戦略配分の調整を行うことが可能です。セグメント別にも特定の戦略区分に偏ることなく、幅広い市場から収益を獲得しています

ポートフォリオ構築においては、低相関のアルファ源泉を組み合わせることで、市場環境によらず安定したパフォーマンスを実現することを目指しています

ピクテ・アルファナティクスは、下ブレ抑制を重視しており、市場リスクが高まる局面ではグロスエクスポージャーを機動的に減少させ、市場上昇時には400%以上に増加させるなど局面に応じた調整を行っています

ピクテ・アルファナティクスは、株式が最大ドローダウンを記録したサブプライム問題~リーマン・ショック局面や、足元のコロナショック局面においてもマイナスリターンを回避しました。また、下落局面だけでなく中長期的にも安定したパフォーマンスとなっています

迅速かつ網羅的なリスク管理システムの活用により、リスク管理チームのみならず投資政策委員会のスムーズな意思決定をサポートし取引シミュレーションによる影響度の分析やストレス・テスト等にも活用します

ピクテ独自開発のPAMFolioシステムを利用し、1,000銘柄以上に及ぶポジション情報を日次で一元管理。RiskMetricsによってリスク値を計測し投資政策委員会にフィードバックを行います。また、通常の市場環境下において95%のポジションをほぼ3日以内に流動化できると想定しています

# IV-1. ピクテ・アルファナティクス ファンド

(2020年3月末現在)

## 【ファンド調査表】

資産区分	オルタナティブ
ファンド名称	ピクテ・アルファナティクス (正式名称:Pictet TR – Diversified Alpha HJJPY)
運用方針	多様な資産・戦略へ分散した上で、ファンド全体及び組入れ戦略レベルでβをコントロールし、マーケット・ニュートラルを維持しながら安定的なリターン獲得を目指す。 アルファの源泉を社内のマネジャーに限定し、株式、債券、クオンツ運用の中からベストの運用を厳選。 定量評価と定性評価を融合した規律ある運用プロセスに則り、投資政策委員会の裁量による社内マネジャー選択と資産配分を実施。
ベンチマーク	無し
設立年月	2015年3月
目標超過収益率	目標収益率: Libor+3~5%
市場エクスポージャー	株式系:80.7%(先進国株式:58.0% セクター特化:11.6% 新興国株式:10.3% イベント・ドリブン:0.9%) 債券・為替:19.3%
推定T. E.	目標標準偏差: 5%以下
時価総額(億円)	3,420
銘柄数	戦略数:15

運用実績	合同口については「基準価格騰落率」、それ以外は「 <b>運用者報酬控除後、円ベース</b> 」でご記入ください。													(単位:%)
2017年度	2017年4月	2017年5月	2017年6月	2017年7月	2017年8月	2017年9月	2017年10月	2017年11月	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月	2017年度	
ファンド	1.02%	0.54%	0.50%	0.30%	-0.05%	1.20%	0.68%	0.16%	-0.43%	0.83%	0.79%	-0.40%	5.25%	
ベンチマーク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
超過収益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2018年度	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	2018年10月	2018年11月	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月	2018年度	
ファンド	-0.51%	0.28%	-0.18%	-0.54%	-1.36%	-0.76%	0.40%	-1.36%	-1.43%	-0.47%	1.35%	-0.29%	-4.79%	
ベンチマーク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
超過収益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2019年度	2019年4月	2019年5月	2019年6月	2019年7月	2019年8月	2019年9月	2019年10月	2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2019年度	過去3年
ファンド	-1.16%	0.74%	1.00%	0.36%	1.35%	-0.80%	-0.20%	-0.02%	1.34%	0.15%	0.34%	-0.40%	2.70%	0.96%
ベンチマーク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
超過収益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

↓幾何平均

運用者報酬以外に発生する報酬(手数料)、流動性制約等ご記入ください

報酬(手数料): 信託報酬: 年率0.50%

購入日: 原則週次(毎木曜日、但し木曜日が営業日でない場合は翌営業日) 購入申込期限: 購入日の原則7営業日前 解約日: 週次(毎木曜日、但し木曜日が営業日でない場合は翌営業日) 解約申込期限: 解約日の原則5営業日前  
(解約代金は原則、解約日の3営業日後までに支払われます。)

当ファンドはスイング・ブライジング制度を採用しており、各購入日・解約日においてファンド全体への資金純流入額または資金純流出額が一定のしきい値を超えた場合、市場状況や購入・解約金額等を勘案し、運用者の裁量により基準価額を上方または下方に調整することがあります。基準価額調整幅(上限2%)およびしきい値は取引コスト等を反映して決定されます。

異例な状況下においてはファンドの裁量により、スイング・ブライジングの適用に加えて、購入・解約価格の2%を上限として希薄化手数料がかかることがあります。

## 追加採用ファンドについて

### ② iSTOXX MUTB クオリティ150インデックス

---

内外株式代替投資部分について、更なる分散強化を目的として、国内株式と外国株式にそれぞれ新たに一つずつファンドを追加するものです。代替投資の他ファンドを減額することで、代替投資部分のトータル残高は変更いたしません。

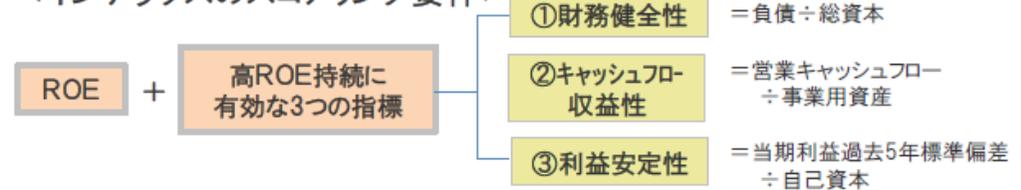
# IV-2. iSTOXX MUTB クオリティ150 インデックスファンド（代替投資に追加）

ROE=純利益/株主資本

## <プロダクトコンセプト>

「利益成長(ROE)が高い水準にあり、かつ高い水準の持続が見込まれる企業(銘柄)」（当インデックスでは高クオリティ銘柄と定義）に投資することで、安定的なリターンの獲得を狙うインデックスです。

## <インデックスのスコアリング要件>



国内株式  
2020/6

	リターン				リスク		リターン/リスク	
	当四半期	当年度	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)
① TOPIX	11.2%	11.2%	1.2%	1.4%	15.2%	16.2%	0.08	0.08
② 弊社最小分散	8.0%	8.0%	2.0%	5.9%	13.0%	12.8%	0.15	0.46
③ iSTOXX MUTB 最小分散	4.6%	4.6%	▲ 0.9%	2.7%	11.2%	12.2%	▲ 0.08	0.22
④ MSCI ミニムホ <sup>®</sup> ラティティ	5.2%	5.2%	1.0%	2.1%	11.5%	12.2%	0.09	0.17
⑤ FTSE RAFI	8.8%	8.8%	▲ 1.6%	▲ 0.5%	15.7%	17.4%	▲ 0.10	▲ 0.03
⑥ JPX日経400	11.9%	11.9%	1.7%	1.4%	15.2%	16.2%	0.11	0.08
⑦ iSTOXX MUTB クオリティ	15.9%	15.9%	6.3%	4.9%	15.0%	16.1%	0.42	0.30
⑧ iSTOXX MUTB 高配当	3.8%	3.8%	▲ 4.9%	▲ 1.3%	14.4%	15.7%	▲ 0.34	▲ 0.08

※弊社最小分散のパフォーマンスは、取引コスト・運用コスト控除後の結果となります。他のインデックスは指数のためコスト等は考慮されません。

外国株式  
2020/6

	リターン				リスク		リターン/リスク	
	当四半期	当年度	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)	過去3年 (年率)	過去5年 (年率)
① MSCI KOKUSAI	20.2%	20.2%	6.2%	5.2%	18.2%	17.8%	0.34	0.29
② 弊社最小分散	12.1%	12.1%	2.1%	3.0%	15.2%	14.7%	0.14	0.20
③ iSTOXX MUTB 最小分散	6.7%	6.7%	2.9%	4.9%	13.4%	13.0%	0.21	0.38
④ MSCI ミニムホ <sup>®</sup> ラティティ	12.8%	12.8%	6.4%	6.2%	13.8%	13.1%	0.46	0.47
⑤ FTSE RAFI	16.4%	16.4%	▲ 0.0%	1.1%	19.6%	19.0%	▲ 0.00	0.06
⑥ iSTOXX MUTB クオリティ	21.0%	21.0%	13.8%	10.6%	16.7%	16.8%	0.82	0.63
⑦ iSTOXX MUTB 高配当	11.9%	11.9%	▲ 2.8%	▲ 0.2%	18.0%	17.3%	▲ 0.15	▲ 0.01
⑧ MSCI エマ <sup>®</sup> シング	18.1%	18.1%	0.9%	0.7%	19.0%	18.5%	0.05	0.04
⑨ FTSE RAFI エマ <sup>®</sup> シング	13.1%	13.1%	▲ 1.4%	▲ 0.5%	20.1%	20.8%	▲ 0.07	▲ 0.02

※弊社最小分散のパフォーマンスは、取引コスト・運用コスト控除後の結果となります。他のインデックスは指数のためコスト等は考慮されません。

リターン/リスクは運用効率を示す指標ですが、過去3年、過去5年で見ても優れた値となっています。通常のベンチマーク(TOPIX、MSCI-KOKUSAI)の代替投資ファンドとして有用であると判断し、分散強化目的で追加します。

# IV-3. 2020年度 年金資産運用状況（追加ファンド投入後イメージ）

2020年度計画		3月末残高		8月末残高		ファンド追加後残高			
区分	ファンド	残高(m)	構成比(%)	残高(m)	構成比(%)	残高(m)	構成比(%)	計画比(%)	
国内債券 (12)	リバランス (3)	ヘンチマク運用(三菱)	255	4.2%	261	4.0%	241	3.7%	0.7%
	代替投資 (9)	アンコンストレインド	260	4.3%	484	7.5%	484	7.5%	
		Neuberger(短期EM債)	224	3.7%	250	3.9%	250	3.9%	3.3%
		ヘンチマク運用(第一)	61	1.0%	62	1.0%	62	1.0%	
	計	800	13.2%	1,057	16.3%	1,037	16.0%	4.0%	
国内株式 (9)	リバランス (6)	ヘンチマク運用(三菱)	194	3.2%	143	2.2%	143	2.2%	-3.8%
	代替投資 (3)	低β・高配当	58	0.9%	61	0.9%	36	0.6%	
		iSTOXX Japanクオリティ(99F)	0	0.0%	0	0.0%	50	0.8%	-0.1%
		最小分散	58	1.0%	64	1.0%	39	0.6%	
		小型株集中投資(リそな)	41	0.7%	60	0.9%	60	0.9%	
計	351	5.8%	328	5.1%	328	5.1%	-3.9%		
外国債券 (13)	リバランス (7)	ヘンチマク運用(三菱)	555	9.1%	388	6.0%	398	6.1%	-0.9%
	代替投資 (6)	グローバル総合(PIMCO)	51	0.8%	160	2.5%	160	2.5%	
		グローバル総合H(PIMCO)	197	3.2%	257	4.0%	257	4.0%	3.4%
		第一生命(フルヘッジ/ハッシュ)	135	2.2%	189	2.9%	189	2.9%	
計	938	15.4%	994	15.4%	1,004	15.5%	2.5%		
外国株式 (14)	リバランス (6)	ヘンチマク運用(三菱)	177	2.9%	151	2.3%	141	2.2%	-3.8%
	代替投資 (8)	最小分散(為替ヘッジ)	287	4.7%	245	3.7%	165	2.5%	
		iSTOXX Globalクオリティ(178F)	0	0.0%	0	0.0%	80	1.2%	
		AMPキャピタル(G-REIT)	75	1.2%	117	1.8%	117	1.8%	-1.3%
		パッシブ・フルヘッジ(50F)	0	0.0%	72	1.1%	72	1.1%	
		第一生命(ハッシュ)	50	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	
計	588	9.7%	585	9.0%	575	8.9%	-5.1%		
短期資産(2)		202	3.3%	416	6.4%	307	4.7%	2.7%	
伝統資産小計(50)		2,879	47.4%	3,380	52.2%	3,251	50.2%	0.2%	

区分	ファンド	残高(m)	構成比(%)	残高(m)	構成比(%)	残高(m)	構成比(%)	計画比(%)
債券・インカム	PIMCO (GOOS)	266	4.4%	71	1.1%	0	0.0%	-
	Alcentra (欧州ヘンクロン)	289	4.8%	300	4.6%	300	4.6%	-
	BlueBay(投資適格絶対リターン)	238	3.9%	251	3.9%	251	3.9%	-
	小計	793	13.0%	621	9.6%	550	8.5%	-
国内株式	サステイナブル成長銘柄投資型	111	1.8%	138	2.1%	138	2.1%	-
	ESGサステイナブル企業投資型	99	1.6%	58	0.9%	58	0.9%	-
	MN101F(パッシブ高配当型)	48	0.8%	47	0.7%	47	0.7%	-
	株式ロ2A(リそな)	51	0.8%	52	0.8%	52	0.8%	-
	小計	310	5.1%	295	4.6%	295	4.6%	-
外国株式	Marshall Wace (株式L/S)	294	4.8%	304	4.7%	304	4.7%	-
	小計	294	4.8%	304	4.7%	304	4.7%	-
マルチ ストラテジー	Farallon (イヘンドリファン)	328	5.4%	320	4.9%	320	4.9%	-
	Baillie Gifford (DRF)	161	2.6%	287	4.4%	287	4.4%	-
	Blackstone AAM	300	4.9%	296	4.6%	296	4.6%	-
	Pictet アルファナティクス	0	0.0%	0	0.0%	200	3.1%	-
	LMRファンド・リミテッド	300	4.9%	261	4.0%	261	4.0%	-
小計	1,088	17.9%	1,164	18.0%	1,364	21.1%	-	
損害保険	Nephila Capital (分別勘定)	53	0.9%	44	0.7%	44	0.7%	-
計		2,538	41.7%	2,427	37.5%	2,557	39.5%	-0.5%
一般勘定(10)		663	10.9%	668	10.3%	668	10.3%	0.3%
合計		6,080	100.0%	6,476	100.0%	6,476	100.0%	0.0%

- 「iSTOXX クオリティインデックスファンド」を国内株式及び外国株式の代替投資部分に追加します。
- 国内株式は、「低β・高配当」ファンド及び「最小分散」ファンドから25m減額し、50mを追加します。
- 外国株式は、「最小分散(為替ヘッジ有)」を80m減額し、同額で追加します。
- 代替投資残高の合計額は変わりません。

- オルタナティブ運用部分に「ピクテ・アルファナティクスファンド」を組入れることで、オルタナティブ運用部分の構成比が39.5%と、年度計画の中心値(40%)に近い状態まで回復します。

